

さいたま市内の公民館での出前講座の報告

～ 高齢者を対象とした出前講座における地球温暖化副読本活用の一事例～

【講座テーマ】 家庭でできる温暖化対策

【実施日時】 平成 29 年 7 月 26 日 (水) 10:00 ~ 11:30

【実施会場】 公民館 (さいたま市 区)

【派遣職員】 さいたま市環境創造政策課

【参加者数】 46人

【参加者の所属】 公民館で行われている公民館介護予防事業の参加者

【具体的な活用方法】

パワーポイントで原稿を作成し、そのうちの何枚かに副読本を使用した。

地球温暖化の説明

・・・温室効果ガスの説明や二酸化炭素が増大した理由等を説明する際、使用した。

日常生活の見直しについて

・・・漫画の場面から、どこに無駄があるかを発問し、参加者に自由に回答してもらった。

【派遣職員の所感】

- ・ ただ淡々とスライドを見せるよりも、漫画テイストのきれいなイラストが入っている方がわかりやすく、見栄えもよいと感じた。休憩中に参加者からアースくんの名前を尋ねられるなど、キャラクターを通じて親近感をもって見てくれていたと思う。
- ・ 発問しやすいようになっていたり、話を広げやすいように作ってあるのがとてもよかった。例えば、「くらしに必要なもの」で「洗濯板とたらい」が「洗濯機」に代替されるようになったという話をしたところ、参加者がうなずいている姿が見られた。そこからスマートフォンやパソコンなど「昔はなかったけど今や必需品になりつつあるもの」の話や、家庭部門での二酸化炭素排出量が増加していることなどへと話をスムーズに発展させることができた。
- ・ イラストを中心に使おうとするとどうしても文字が小さくなるため、文章とイラストを合わせて使うのが難しかった。今回のように、一人一冊配るのではなく、スライドに投影したものを大人数で見る状況であったので特に気に気を遣った。イラストや吹き出しの部分だけを切り抜いて利用できるようにしたため、より解像度の高いものなどがあれば尚活用しやすかった。